


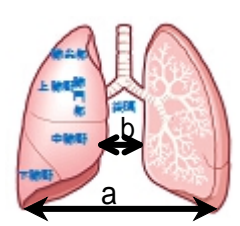
検査項目		検査項目の意味	基準値 (単位)
腫瘍マーカー	CEA	胃がん・大腸がん・すい臓がん・肺がん・乳がん・卵巣がん・腎がんなどで高値を示すことがあります。なお、糖尿病・高齢者・多喫煙者・大腸疾患でも高値を示すことがあります。	5.0未満 (ng/ml)
	AFP	胎児に特有なタンパク質の一種で、原発性肝がん・肝硬変・肝炎などで高値を示すことがあります。	10.0以下 (ng/ml)
	CA125	卵巣がんで高値を示しますが、胸膜炎・腹膜炎など、胸水・腹水を伴う疾患でも高値を示します。	35.0以下 (U/ml)
	PSA	前立腺の病気で、前立腺肥大・前立腺炎・特に前立腺がんの場合に高値を示します。	4.0未満 (ng/ml)

生活習慣病検査	酸化LDL (MDA-LDL)	LDL - コレステロールが酸化的变化で生じる物質群 (酸化LDL) の中で多量にあるもので、血管壁を傷つけて血栓が形成されやすくなり、動脈硬化を引き起こすといわれています。	61 ~ 105 (U/l)
	アディポネクチン	脂肪細胞から出てくる善玉物質で、筋肉や肝臓で脂肪を燃焼させ血糖を下げる働きに関与していると言われていました。血液中的アディポネクチンを増やすためには食事や運動を行い内臓脂肪を増やさないことが重要です。	4.0以上 (μg/ml)
	BNP	心臓の弱り具合 (心不全の重症度) を評価します。動悸や息切れなどの自覚症状がある方、高血圧・不整脈のある方におすすめします。	18.4以下 (pg/ml)

胃がん検査	ピロリ菌IgG抗体	ピロリ菌感染の状態を反映する検査です。ピロリ菌は胃炎や胃がんの発症と密接に関連した病原菌です。	10.0未満 (U/ml)
	パプシゲン / パプシゲン判定	胃粘膜の委縮の状態を反映する指標です。委縮が進むと慢性胃炎や胃がんなどの病気になりやすいといわれています。異常を示す時は、内視鏡的精密検査や経過観察が必要となります。	(ng/ml) (-)

便検査	便潜血1回目	便への血液混入の有無を調べます。下部消化管出血の早期発見のための検査です。	(-)
	便潜血2回目		(-)

眼科検診		右視力	近視・遠視・乱視などの目の働きの度合いを調べます。視力は矯正視力で0.7以上見えていれば異常ではありません。
	左視力	右眼圧	眼圧が高い時には緑内障の疑いがあります。放置すると視野が欠けたり視力障害をきたすことがありますので、必ず眼科を受診し精密検査を受けてください。
	右眼圧	左眼圧	眼底
	左眼圧	眼底	

胸部X線検査		肺や気管、心臓、大動脈などの形態的な情報を得ることができます。また、側彎症 (背骨のゆがみ)、ろっ骨や背骨の骨折のあと、胸部 (肺・心臓・乳房) の手術のあとを指摘されることもあります。古い結核や胸膜炎のあとなど、(結節影とか陳旧性病変などと記載されることが多い) は特に心配いりませんが、他の疾患と区別するため再検査およびCT検査による精密検査をする場合があります。
	心胸郭比	心胸郭の幅に対して心臓の幅が占める比率を計算したものです。